

# 会議議事録

|     |                        |
|-----|------------------------|
| 事業名 | 平成31年度 第1回 教育課程編成委員会   |
| 学校名 | 学校法人 新潟総合学院 新潟デザイン専門学校 |

|      |   |
|------|---|
| 会議名  | 第1回教育課程編成委員会会議  |
| 開催日時 | 平成31年3月19日(火) 17:00～19:00   |
| 会場   | ホテル イタリア軒 5階トリノ 新潟県新潟市中央区西堀通7番町1574   |
| 出席者  | <p>新保 悟 (ジャムルクルー株式会社)<br/>         白井 剛暁 (DESIGN DESIGN 代表)<br/>         浅野 勝利 (株式会社T00)<br/>         落合 剛之 (株式会社TAMBO 代表取締役)<br/>         澁谷 敏 (シブヤカメラ)<br/>         加藤 一人 (新潟デザイン専門学校 学校長)<br/>         畑野 裕美 (教務部長/デジタルデザイン科学科長)<br/>         永井 啓司 (就職相談室室長/デジタルデザイン科)<br/>         吉富 克弥 (雑貨ジュエリー・デザイン科学科長)<br/>         田中 圭 (グラフィックデザイン科学科長)<br/>         宝福 大志 (キャラクターイラストデザイン科/イラストレーション科学/美術・工芸デザイン科科長)<br/>         羽田 裕之 (写真デザイン科学科長)<br/>         加納 洋太 (教務)<br/>         関塚 堅斗 (事務局長)</p> <p style="text-align: right;">(出席者 15名)</p> |
| 欠席者  | <p>高田 哲雄 (文教大学 教授)<br/>         渡辺 淳一郎 (株式会社アイディ・東和 取締役営業部長)<br/>         齋藤 秀一 (NPO 法人 アジアクラフトリンク 理事長)</p> <p style="text-align: right;">(欠席者 3名)</p>  |
| 会議内容 | <p>(1) 学校長挨拶<br/>         学校長:加藤より職業実践専門課程について及び教育課程編成委員会設置についての趣旨説明・役割の重要性についてなどを話し、開会挨拶とした。</p> <p>(2) 本日の出席者紹介<br/>         学校長より新規委員及び本校委員が紹介された。<br/>         企業等委員より自己紹介が行われた。</p> <p>(3) 本校の現状報告<br/>         教務部長畑野より学校方針/教育目標/教育実績/運営報告等の説明がされた。</p> <p>(4) コンペ前年度との比較、企業プロジェクト、進路決定について<br/>         教務部長畑野より全校の報告を行った。</p>   |

(5) 本校カリキュラム・教育実績報告(コンテスト入賞・進路決定報告・産学連携報告など)について各学科から前年度実績報告と現行報告がされた。

- ① グラフィックデザイン科(田中学科長)
- ② 雑貨・ジュエリーデザイン科(吉富学科長)
- ③ 写真デザイン科(永井学科長)
- ④ イラストレーション科(宝福学科長)
- ⑤ 美術・工芸デザイン科(宝福学科長)
- ⑥ キャラクターイラストデザイン科(宝福学科長)
- ⑦ デジタルデザイン科(学科担当永井)

(6) 質疑応答・意見

① グラフィックデザイン科

田中:前年度の意見の活用について報告。得意・不得意が学生によってあるかと思うが、就職を意識して内容の習得を目指すように、検定科目始前に、検定の目的やその成果を学生に説明し、目標設定を行うように指導をした。

② 雑貨・ジュエリーデザイン科

落合:産学連携にも力を入れていることが海外でのデザイン採用の報告で伝わってきた。学生の強みへつながるような工夫をしてほしい。

③ 写真デザイン科

渋谷:幅の広い撮影手法を全員が学んでおり、撮れないシーンがないというg区政もいると聞き、行基としては面白い人材になってくれると感じる。

④ イラストレーション科

渡辺:業界での就職活動時にはポートフォリオの充実がとても重要。作品の入れ方やまとめ方を工夫できるように指導を入れてほしい。

⑤ 美術工芸デザイン科

浅野:コンテストや作品展への出展を積極的に行い、作品展示の仕方なども授業の一環として取り入れてみてはどうか。

宝福:前年度の意見の活用について報告。学校のHPへの作品UPや個人のSNS活用についても指導を実施した。

⑥ デジタルデザイン科

永井:前年度の意見の反映状況について報告。Webコンテンツやデザインの授業を見直し、企業からの講師依頼を行い、授業を実施している。

※その他、全学科共通

- ・入学者数について少し盛り返している等
- ・研究課程へ内部進学をした学生数
- ・県内を出ていく若者が増え、県内から入学する学生が減ったので、県外から呼び込むことに力を入れたい。営業活動も県外を倍に増やしている。
- ・前年度に続き、学費相談で奨学金についての件が増えている。
- ・国際交流、海外へ向けた取り組みについて

(7) 次年度の委員会及び次回委員会開催日程(10月中を予定)に関して委員の都合を再確認し連絡する事になった。

以上



学連携報告など) について上期実績報告と現行報告がされた。

① 認定済みで今回更新対象学科

イラストレーション科 (宝福学科長)

② 認定済み学科

デジタルデザイン科 (永井学科担当)

グラフィックデザイン科 (田中学科長)

美術・工芸デザイン科 (宝福学科長)

キャラクターイラストデザイン科 (宝福学科長)

雑貨・ジュエリーデザイン科 (吉富学科長)

写真デザイン科 (羽田学科長) 認定済み学科

(4) 学校行事・イベントの報告

教務部長: 畑野より今年度上期の全校行事・イベント・研修について、実施内容とその成果、退学抑止の現状について報告がされた。

(5) 質疑応答・意見

渡辺: カウンセリング制度について学生側も教職員側も両者にとって活用できていることがクラス運営にも良い効果があるように考える。今後も続けてほしい。

白井: 就職活動時の作品集について、ブラッシュアップをどのタイミングで実施していくか、企業に合わせて作品の構成を替えられるなど事前の準備ができると、ゆとりのある就職活動に繋がるようにも思うがどうだろうか。

宝福: 後半の就職 k 津道に向け、指導を続けていく。

その他、全学科共通

- ・ 上期及び現状までの退学抑止の現状、在籍数について等
- ・ 産学連携コンペの現状についての現状報告。作品もみて頂いた。
- ・ 東京での作品展を全校で実施した利点と反省点を報告。
- ・ 地域貢献を踏まえた中学校への出前授業の報告。
- ・ 国際交流→新規訪問の台湾五育高校について取組について報告。
- ・ 学校移転による影響について校長より報告。

(6) 次年度の委員会会議開催日程(3月中を予定)に関して、委員の都合を確認し連絡する事になった。

以上